

2022年3月期 決算概要

2022年5月13日



パンチ工業株式会社

(証券コード: 6165 東証プライム)

2022年3月期 決算ハイライト

全地域で増収を達成し、上場来最高益を計上

売上	連結	連結売上高は、前期比121.2%、68億円増の393億円。
	日本	前期比113.6%の140億円。 電子部品・半導体関連が好調を維持し、自動車関連の回復が影響。
	中国	前期比124.1%の209億円。 為替影響が大きいものの、全業種で好調を維持。
	東南アジア	前期比126.4%の17億円。 シンガポール、マレーシア、ベトナムが特に好調。
	欧米他	前期比142.2%の26億円。 医療関連に加えて、電子部品・半導体関連が好調。
利益		営業利益は、前期比188.5%の3,041百万円 経常利益は、前期比179.4%の3,007百万円 親会社株主に帰属する当期純利益は、前期比427.2%の2,040百万円
ネット資金		当期純利益の計上等により、期首から1,901百万円増加。



損益計算書サマリー

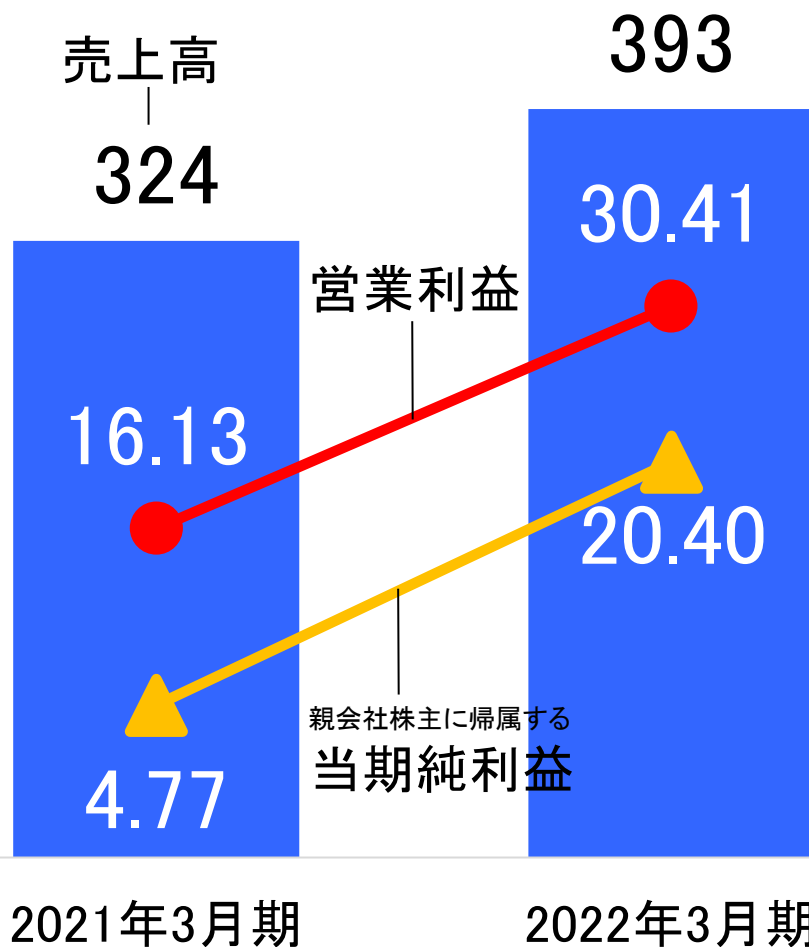
(単位:百万円)

	2021年3月期	2022年3月期	前期差	前期比
売上高	32,462	39,358	6,896	121.2%
営業利益	5.0% 1,613	7.7% 3,041	1,428	188.5%
経常利益	5.2% 1,676	7.6% 3,007	1,331	179.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1.5% 477	5.2% 2,040	1,563	427.2%



売上高と利益

(単位: 億円)



【前期比較】

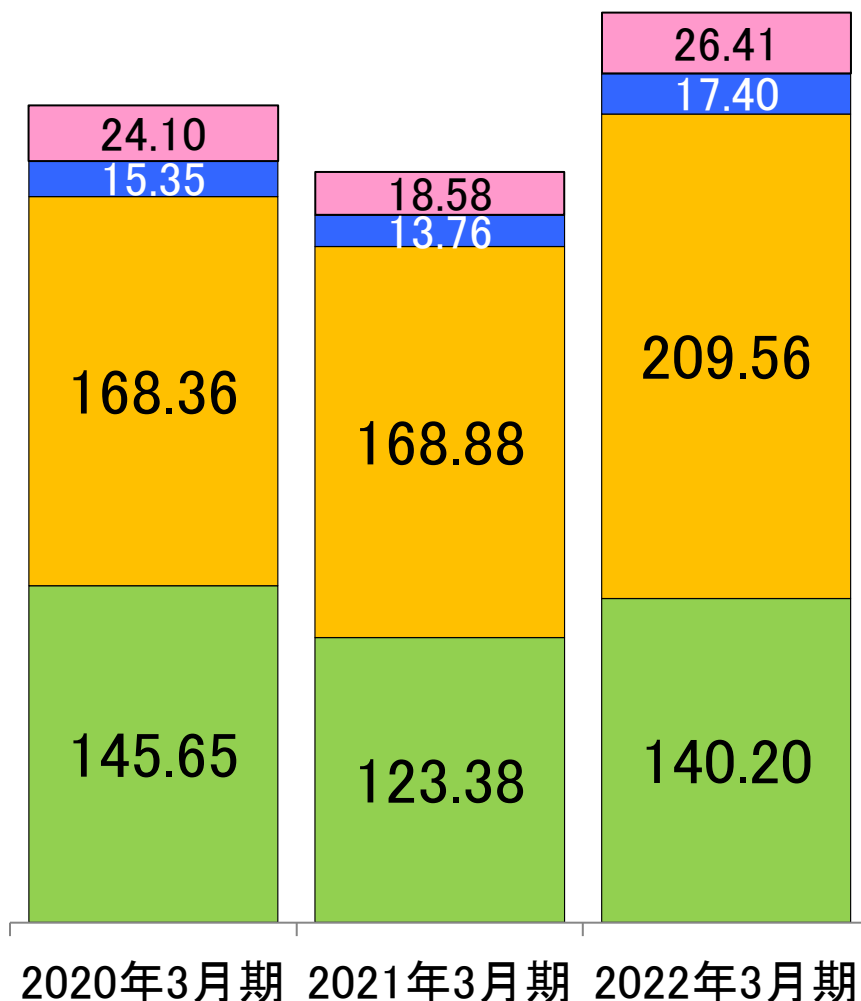
売上高	68	億	96	百万円	増収
営業利益	14	億	28	百万円	増益
純利益	15	億	63	百万円	増益

※親会社株主に帰属する当期純利益



地域別売上高

(単位: 億円)



全ての地域において増収となるも、
日本はコロナ禍前の回復には至らず

欧米他 医療関連の欧米向け輸出が
堅調を維持

東南
アジア 増収要素はシンガポール、
マレーシア、ベトナムが牽引

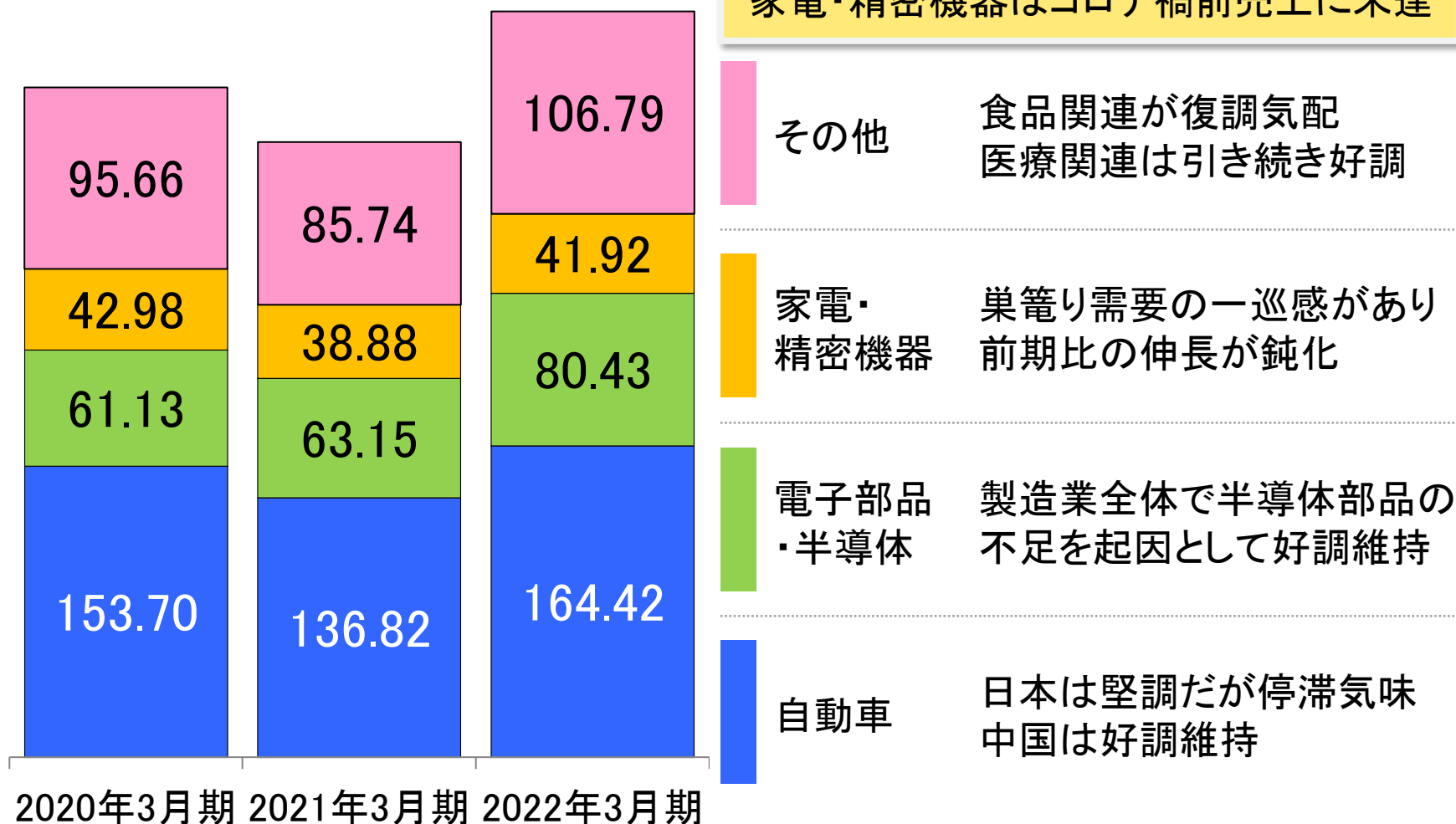
中国 電子部品・半導体関連が好調
為替の上振れあるが、好調維持

日本 電子部品・半導体関連が好調
自動車関連は堅調だが停滞気味



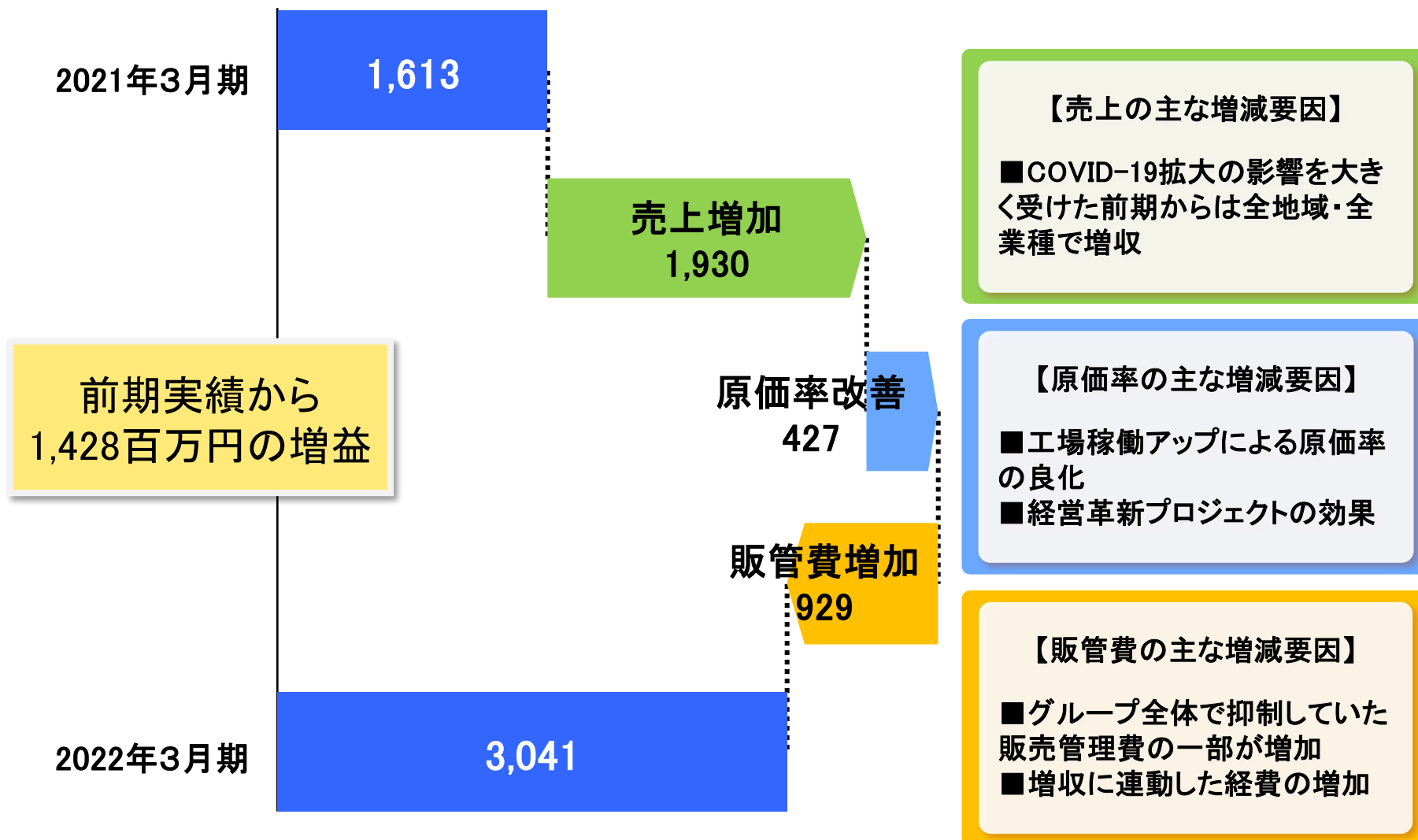
業種別売上高

(単位: 億円)



営業利益増減

(単位: 百万円)



貸借対照表サマリー

(単位:百万円)

	2021年3月期末	2022年3月期末	比較増減
総資産	24,702	28,774	4,071
総負債	12,266	12,466	200
うち有利子負債	4,997	3,820	▲1,177
純資産	12,436	16,307	3,870
ネット資金	▲905	995	1,901

自己資本比率	50.2%	56.5%	6.3pt
自己資本利益率(ROE)	4.0%	14.2%	10.2pt

設備投資額(無形固定資産含む)	452	1,149	696
減価償却費(無形固定資産含む)	968	971	2



キャッシュ・フローサマリー

(単位:百万円)

	2021年3月期	2022年3月期
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,942	2,941
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲670	▲1,099
フリーキャッシュ・フロー	2,272	1,841
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲1,684	▲1,600
現金及び現金同等物の増減額(換算差額含む)	596	707
現金及び現金同等物の期末残高	3,962	4,669

2023年3月期 通期業績予想

中期経営計画
「バリュークリエーション2024」
数値目標

- ◆ 本資料内では、中期経営計画**V**ALUE **C**REATION
(バリュークリエーション)を「VC」と称しています。



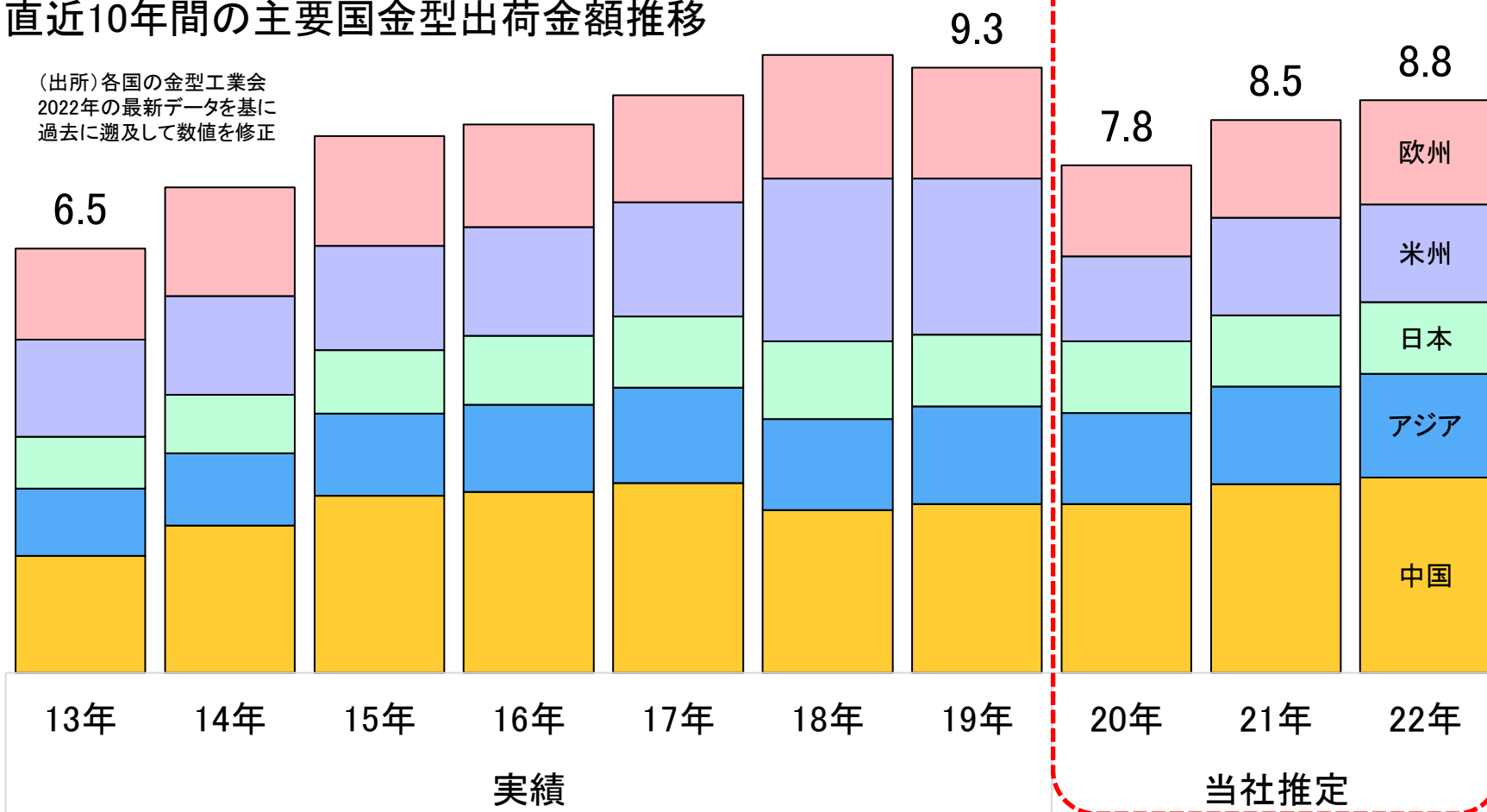
金型市場の予想(金額)

COVID-19等による投資抑制によって一時的に減少したが回復傾向

(単位: 兆円)

直近10年間の主要国金型出荷金額推移

(出所) 各国の金型工業会
2022年の最新データを基に
過去に遡及して数値を修正



2023年3月期 業績及び配当の予想

(単位:百万円)

	2022年3月期 (実績)		2023年3月期 (予想)		前期差	前期比
売上高	39,358		43,500		4,142	110.5%
営業利益	7.7%	3,041	7.6%	3,300	259	108.5%
経常利益	7.6%	3,007	7.5%	3,270	263	108.7%
親会社株主に帰属する 当期純利益	5.2%	2,040	4.8%	2,100	60	102.9%
ROE	14.2%		12.2%		▲2.0pt	—
設備投資額 (無形固定資産含む)	1,149		1,600		451	139.3%
減価償却費 (無形固定資産含む)	971		1,000		29	103.0%

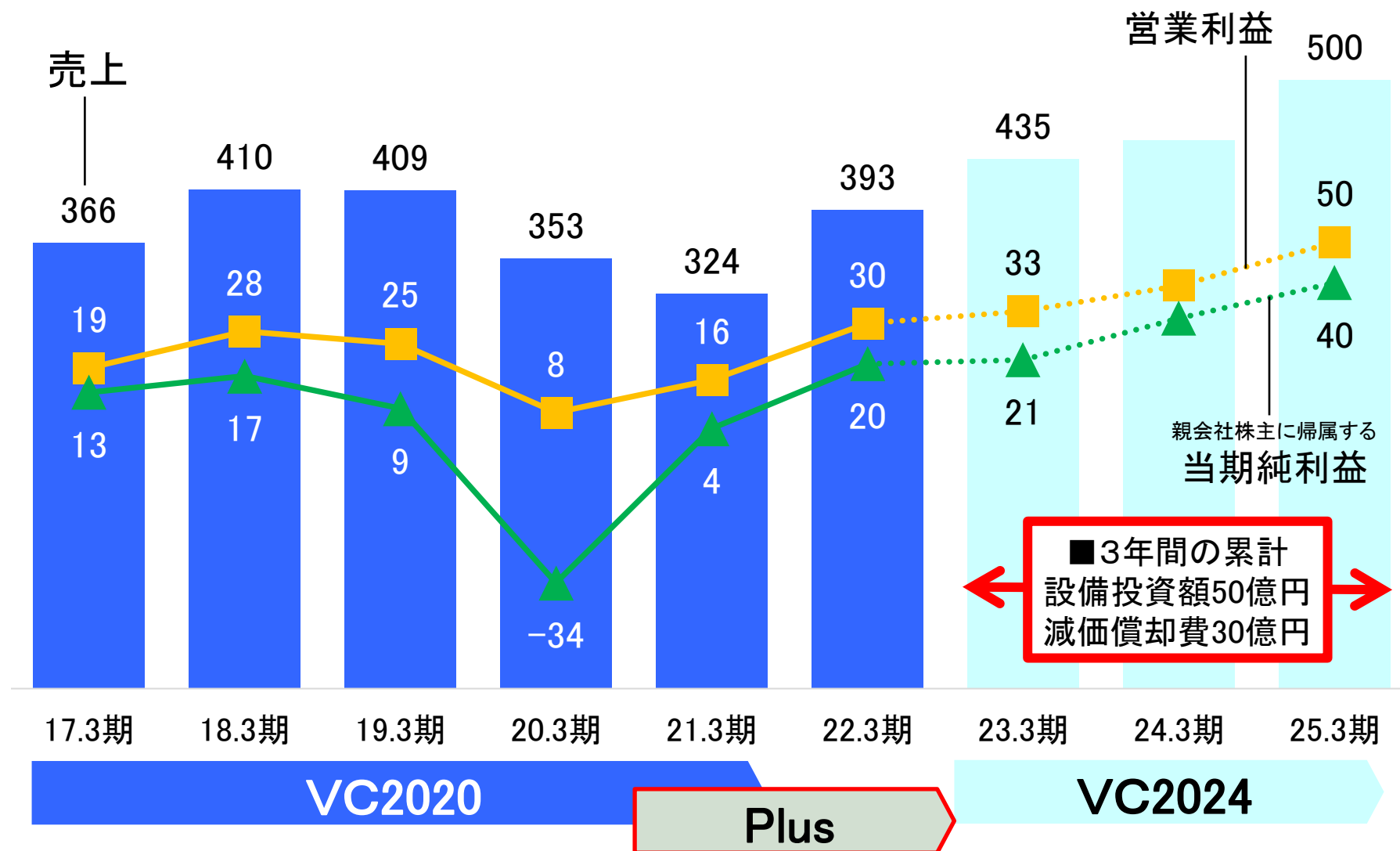
配当予想

13円 = 中間 6.50円 + 期末 6.50円



中期経営計画「VC2024」の経営数値目標

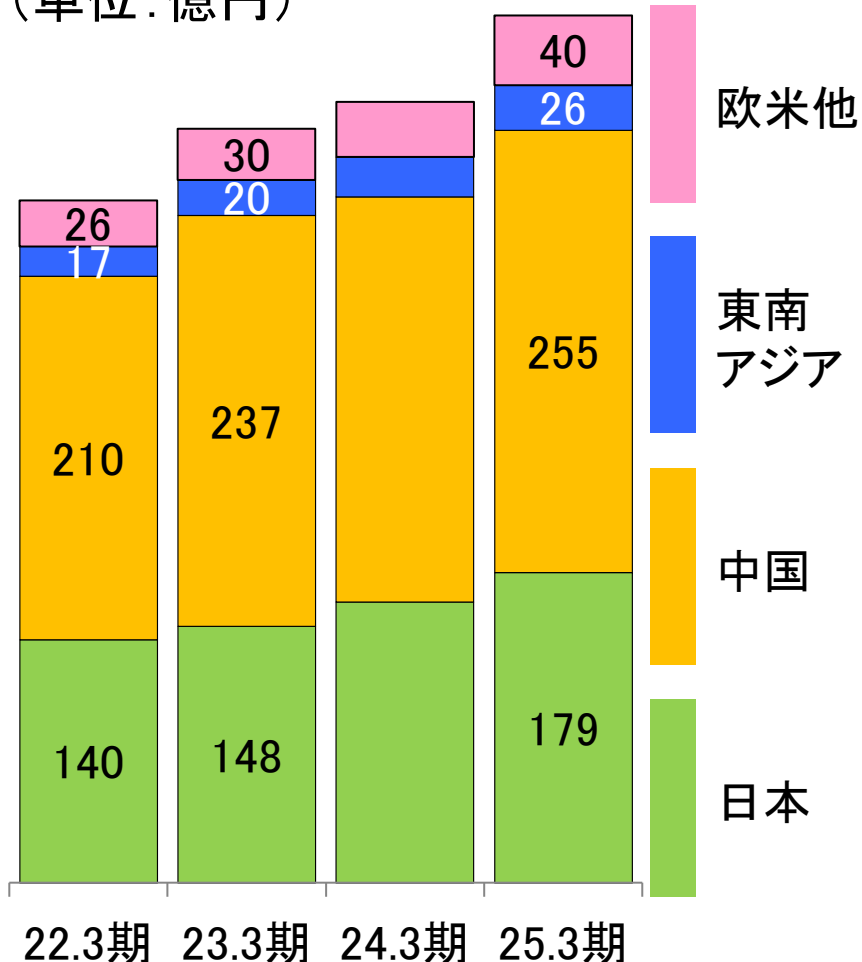
(単位: 億円)



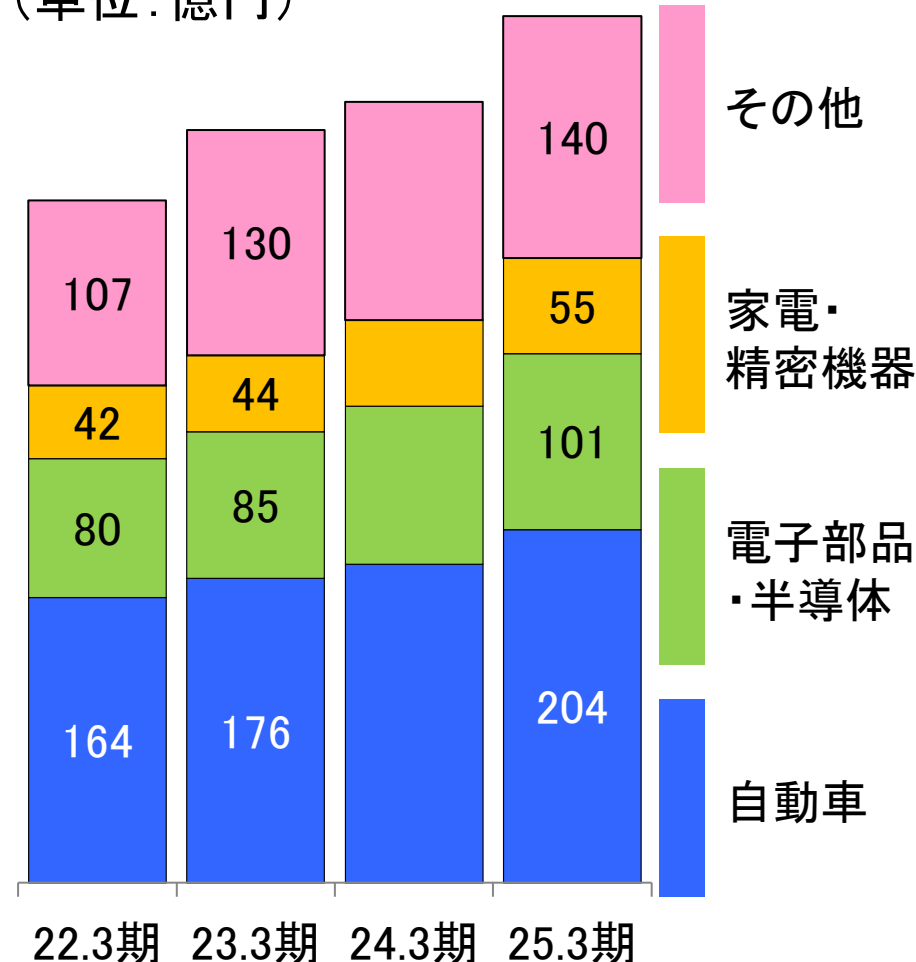
地域別・業種別売上の数値目標

「VC2024」は、2022～2024年度（2023年3月期～2025年3月期）

（単位：億円）



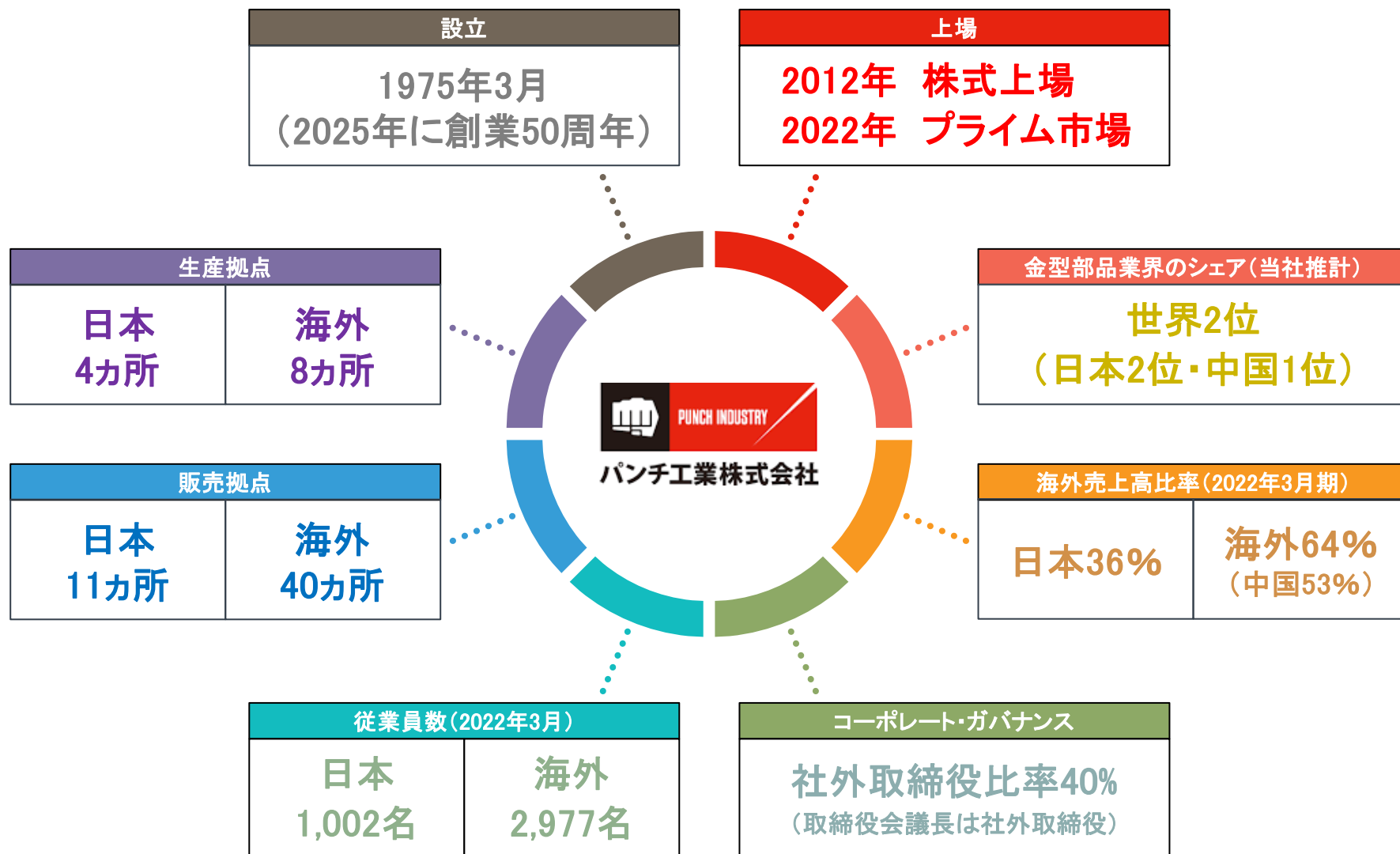
（単位：億円）



参考資料



ひと目でわかるパンチグループ



マネジメント体制

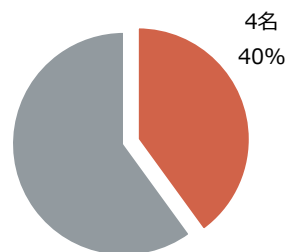
代表取締役社長プロフィール

氏名及び生年月日	職歴
 森久保 哲司 (1977年1月22日)	2003年5月 当社入社
	2005年2月 盤起工業(大連)有限公司
	2012年11月 バリュー・クリエーション推進室長
	2013年4月 経営企画室長
	2015年4月 PUNCH INDUSTRY MALAYSIA SDN. BHD.
	2016年5月 執行役員
	2018年6月 取締役 上席執行役員 経営戦略統括
	2019年4月 最高戦略責任者 グループ事業統括
	2019年6月 代表取締役(現任) 副社長執行役員
	2019年11月 社長執行役員 最高経営責任者 グループ経営統括(現任)

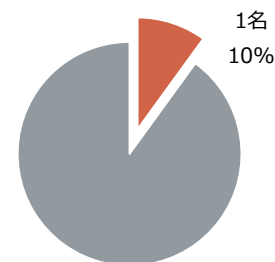
取締役体制

取締役	代表取締役社長執行役員 最高経営責任者(CEO)	森久保 哲司
	取締役常務執行役員 最高執行責任者(COO/営業)	真田 保弘
	取締役上席執行役員 最高財務責任者(CFO)	村田 隆夫
	取締役上席執行役員 最高執行責任者(COO/製造)	高梨 晃
	取締役	杉田 進
	社外取締役 取締役会議長	三橋 友紀子
取締役 (監査等委員)	社外取締役	高辻 成彦
	取締役(監査等委員)	河野 稔
	社外取締役(監査等委員)	松江 頼篤
	社外取締役(監査等委員)	鈴木 智雄

社外取締役比率



女性取締役比率

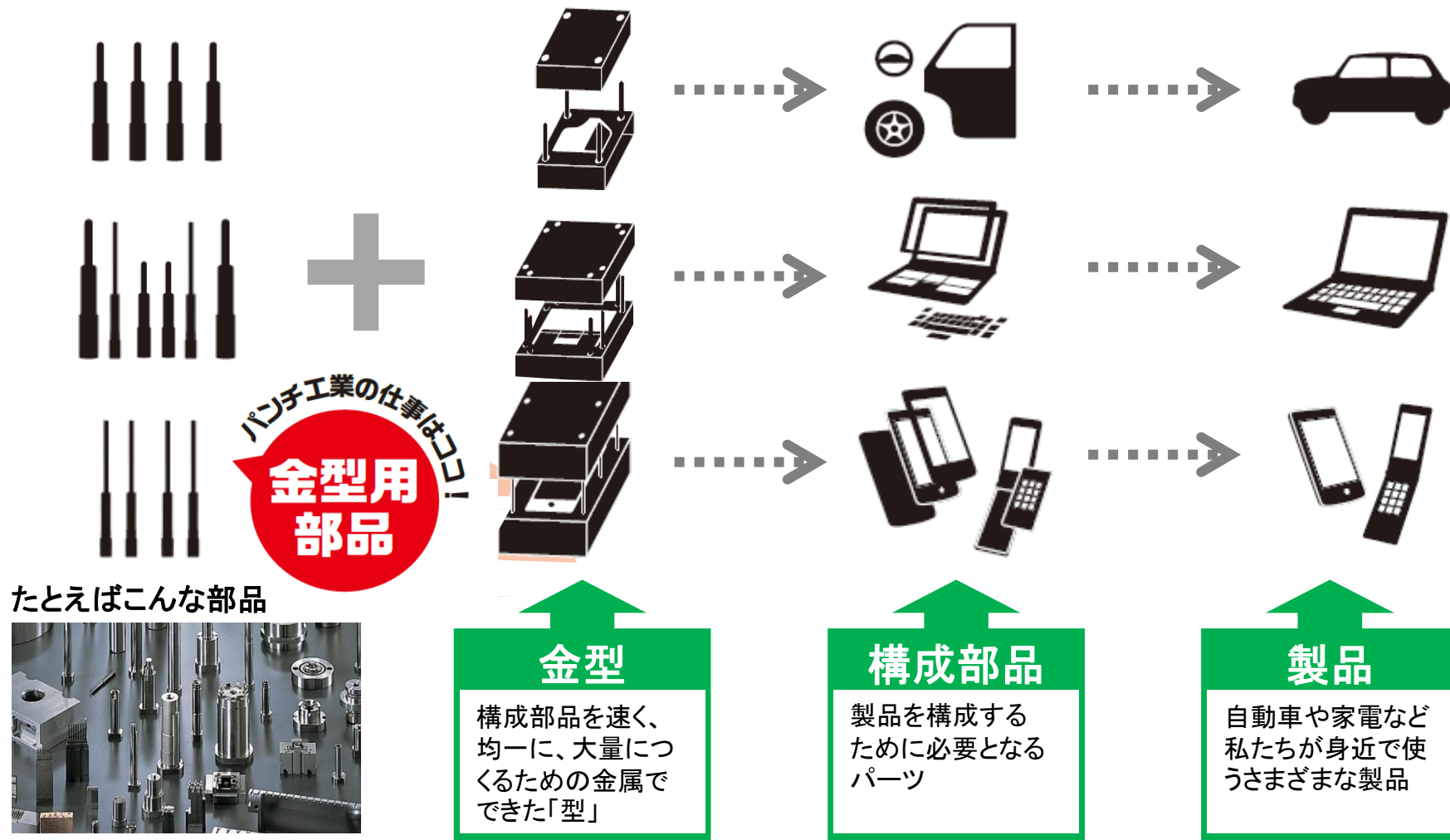


パンチグループ沿革



事業内容

金型を構成するために、なくてはならない多種多様な精密金型部品の製造・販売
皆様の豊かな生活を支える「縁の下の力持ち」



パンチグループの主要製品

射出成型金型等のプラスチック金型部品とプレス加工金型等のプレス金型部品
ものづくりの上流から下流までお取引

プラスチック金型部品

プラスチック金型は、スマートフォンやデジタルカメラの外装など、多くのプラスチック製品の製造に用いられています。加熱溶融したプラスチック樹脂を、射出成形機に実装された金型に注入し、冷却、固化することにより製品が作られます。パンチグループでは、この金型を構成する部品を製造・販売しています。



主要な製品

エジェクタピン

射出成形された成形品を金型そのものから離し、突き出すための部品（押し出しピン）です。



主要な製品

コアピン

製品部を成形するのに使用し、コアピンの形が転写されます。製品部の貫通させた部分を成形したり、製品部に彫刻をします。

プレス金型部品

プレス機（上下運動する機械）に金型を装着し、上下に分かれた金型の間に材料となる金属の鋼板を入れ、プレス機を稼働することにより、金型で型どられた製品ができて上がります。パンチグループでは、この金型を構成する部品を製造・販売しています。



主要な製品

パンチ

プレス金型に組込まれる代表的な部品で、金属板に穴をあけたり、形状を転写するための部品です。当社の社名はこのパンチに由来しています。



主要な製品

ホルダーガイドポスト関連

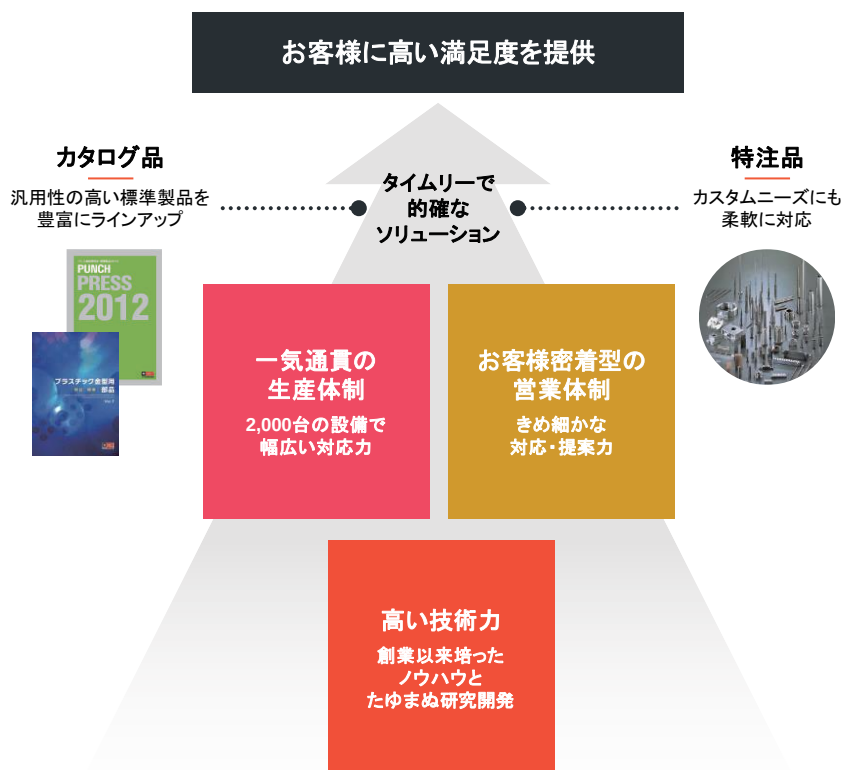
上型と下型の関係を正しく保つために使用する部品です。



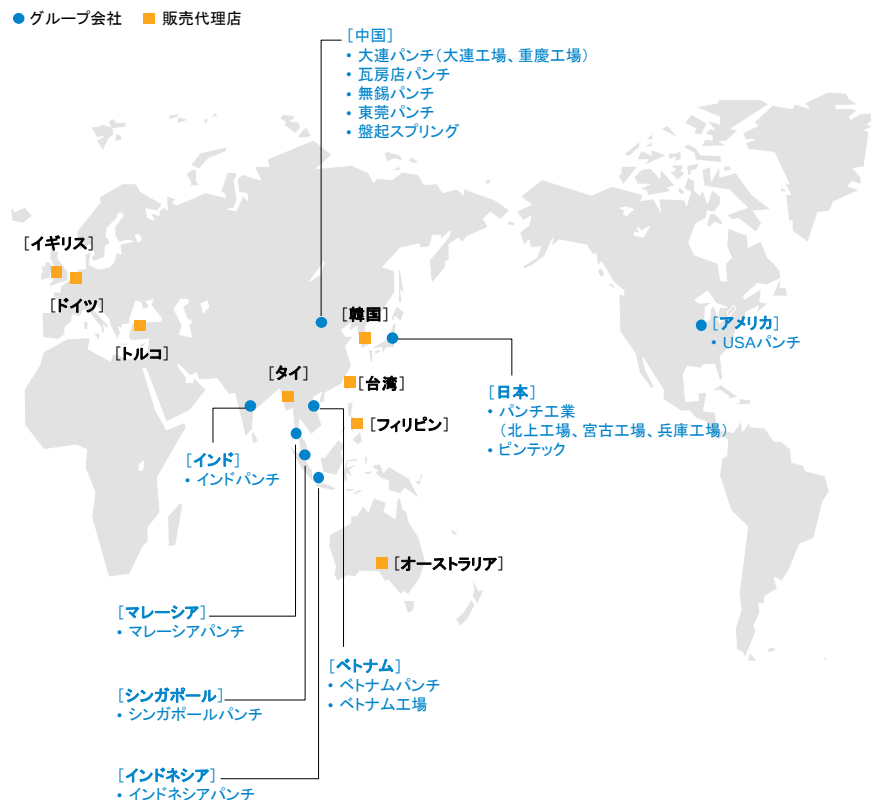
パンチグループの強みとネットワーク

汎用性の高いカタログ品を豊富にラインアップ & カスタムニーズにも対応する特注品
世界の「ものづくり」を支える

パンチグループの強み

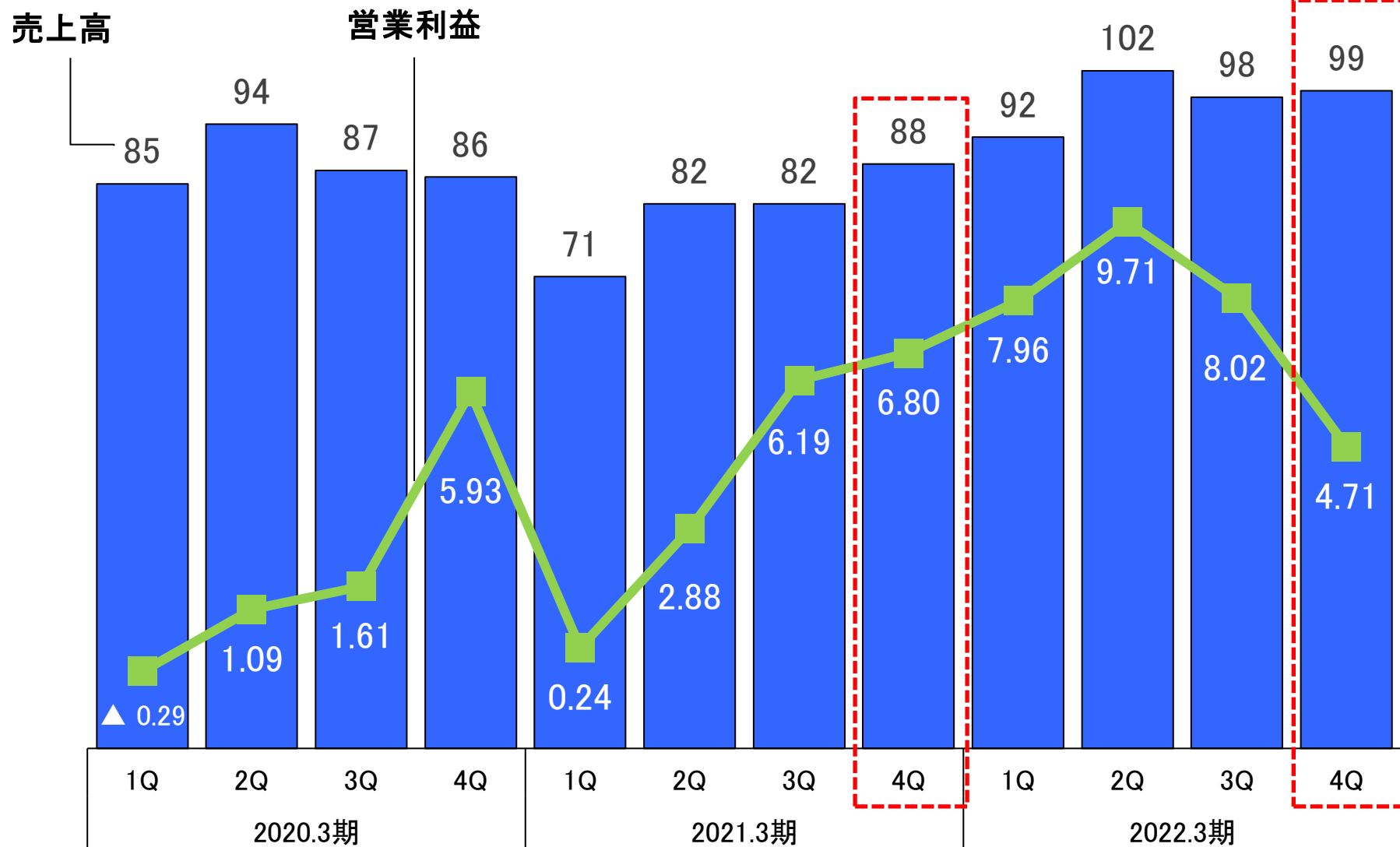


パンチグループのネットワーク



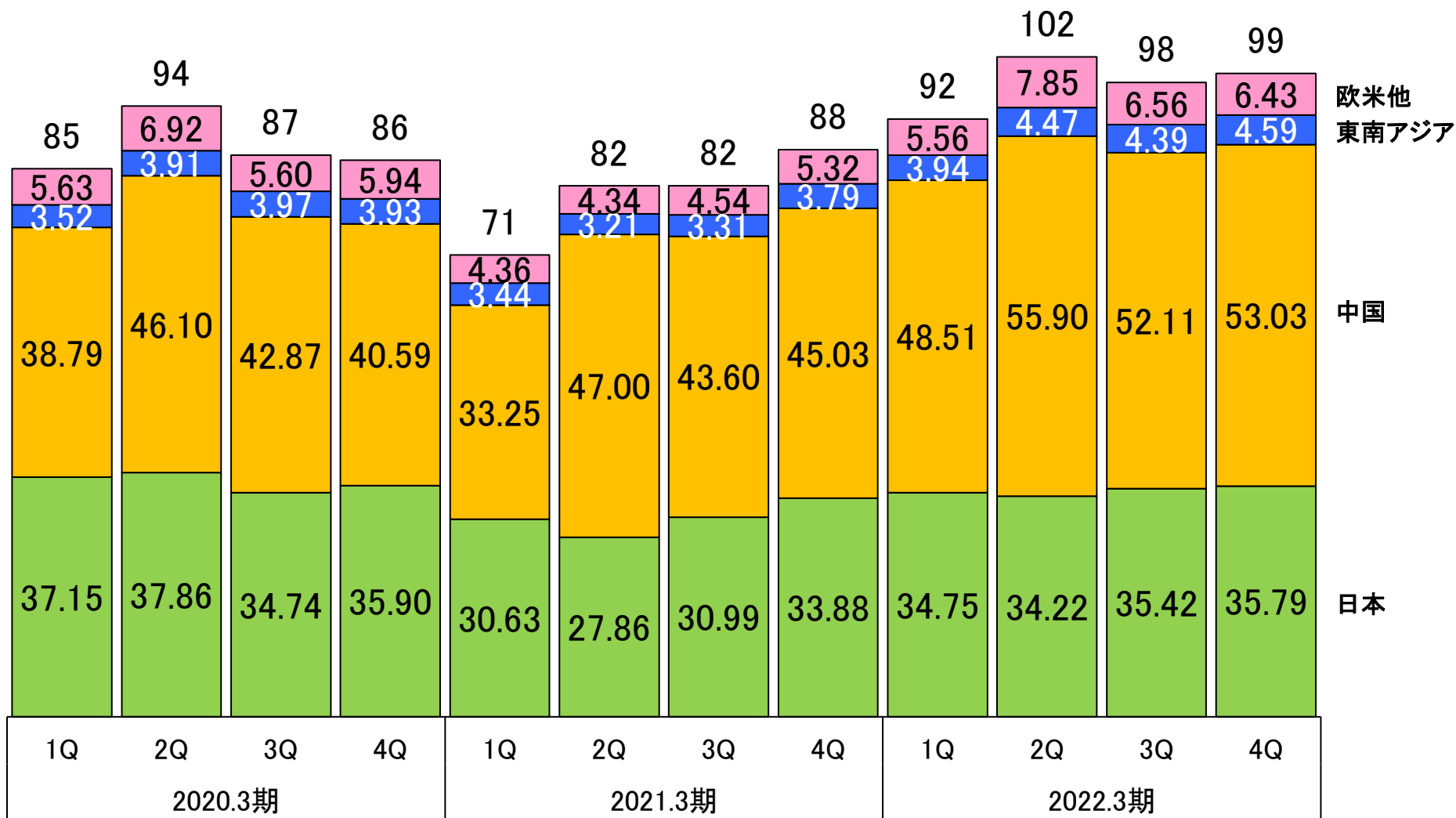
売上高と営業利益の推移

(単位: 億円)



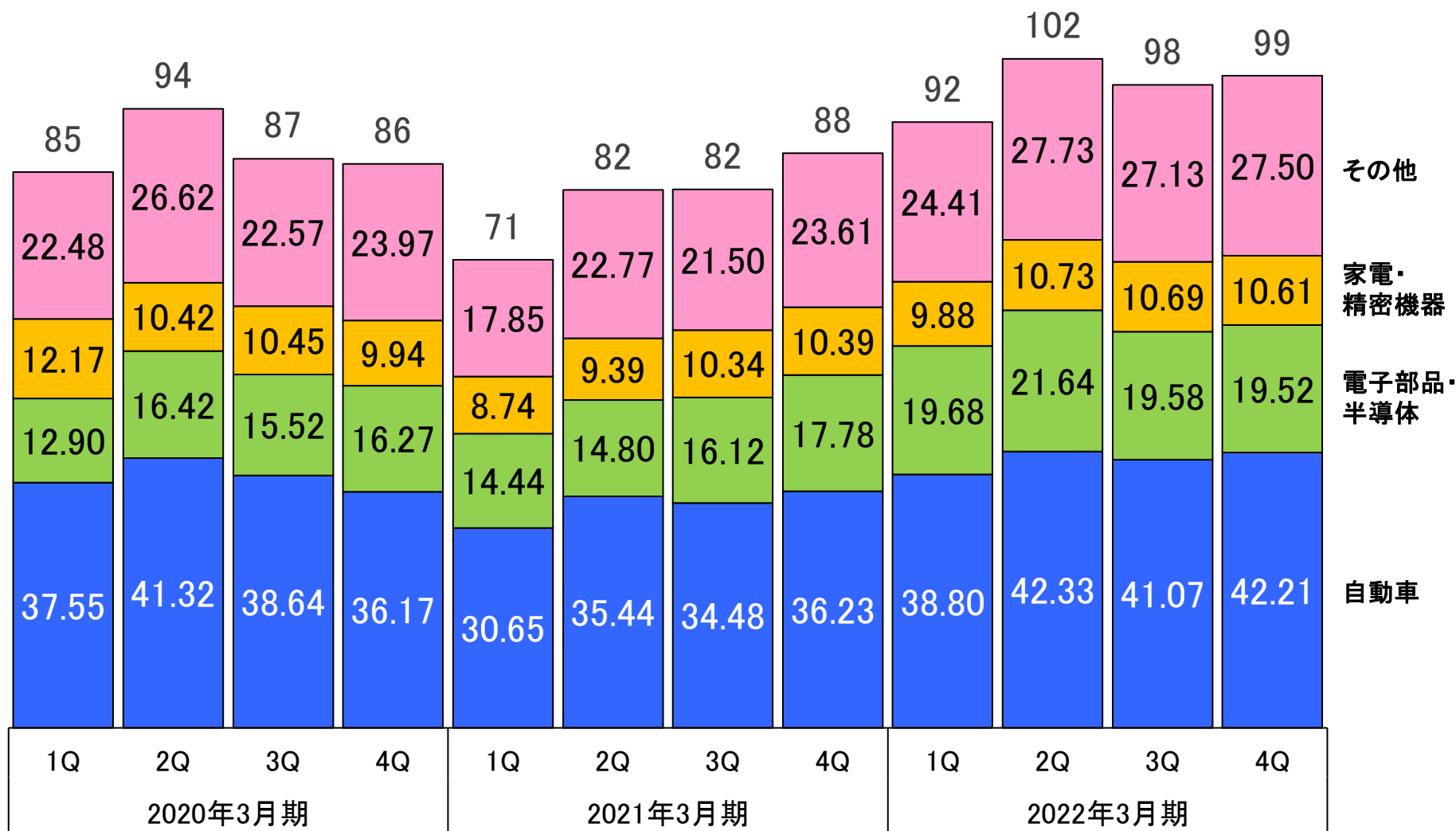
地域別売上高

(単位: 億円)



業種別売上高

(単位: 億円)



流通株式時価総額の増大に向けて

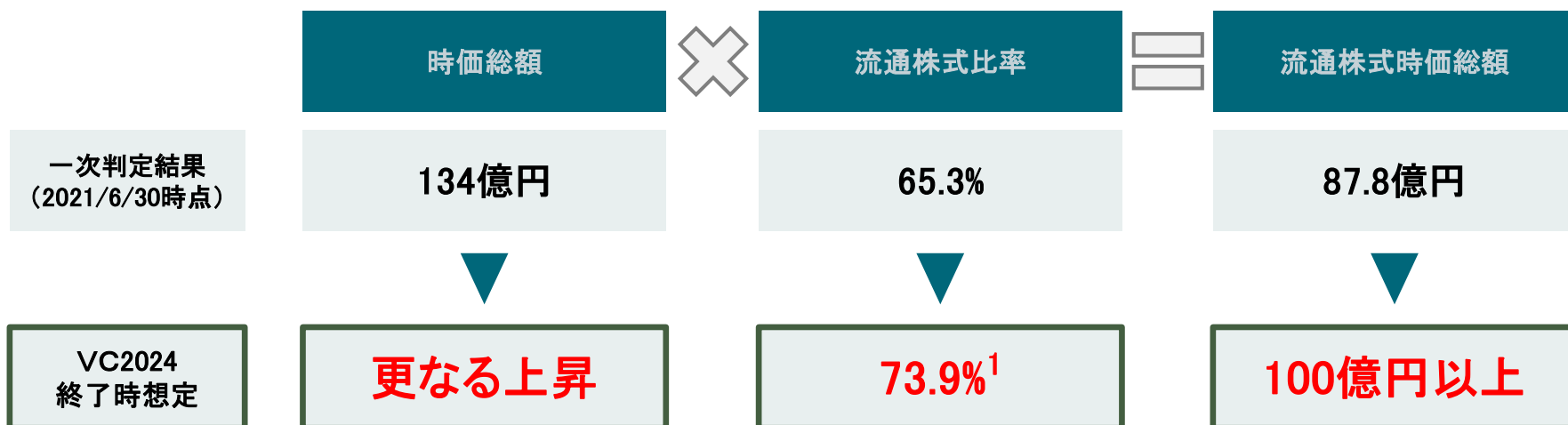
企業価値向上のための施策を通じた株価・時価総額上昇を通じ、プライム市場の上場維持基準である流通株式時価総額100億円の達成・及び更なる上昇を目指す

流通株式時価総額上昇に向けた課題

企業価値向上施策を通じた株価上昇
ROIC経営による「稼ぐ力」の強化
成長投資と安定配当を最適バランスで実施

課題解決に向けた基本方針

成長に向けた設備投資の実施
DX推進での業績向上と働き方改革
新技術・新製品の持続的な開発



1. 第三者割当による行使価額修正条項付第4回新株予約権の発行にて2,500,000株の新株を発行し、その全てが流通株式に該当したと仮定





【IRに関するお問い合わせ先】 パンチ工業株式会社 経営戦略室 広報IR課 電話:03-5753-3130 e-mail:info-corp@punch.co.jp

【将来見通し等に関する注意事項】

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。

本資料における、将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。

また、業界等に関する記述につきましても、信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。